

成人向
FOR ADULT

Difference



Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "シノン"

Difference

Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "シノン"

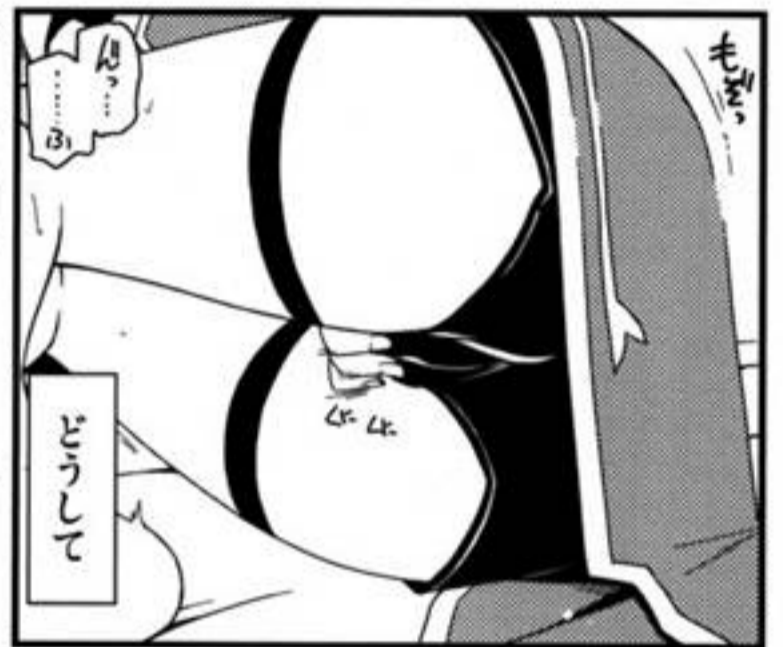
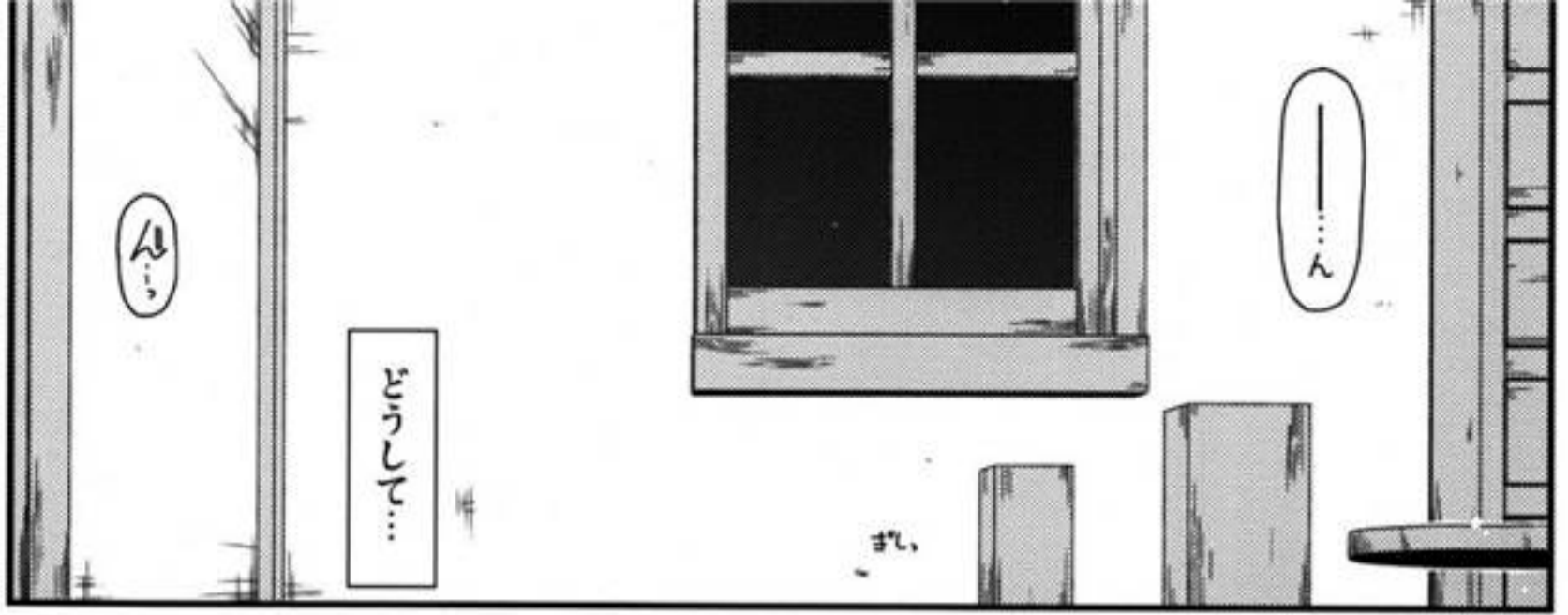
Difference

■ Disclaimer ■

はい。唐突にSAOでございます(^_^)
今回は先日発行した「Extra31」をもう少し掘り下げていく感じで仕切り
直してみましょうか?といったところで。

ではではどうぞ(=ω=)!







VRMMOのなか

こっちはALOOの

今の私の身体は
このアバターで
あって



現実
あつちの
身体は今も

あのアバターの
ベッドの上に

静かに
横たわったまま――





アミユスファイアによる
インタラプトにも
限界があつて

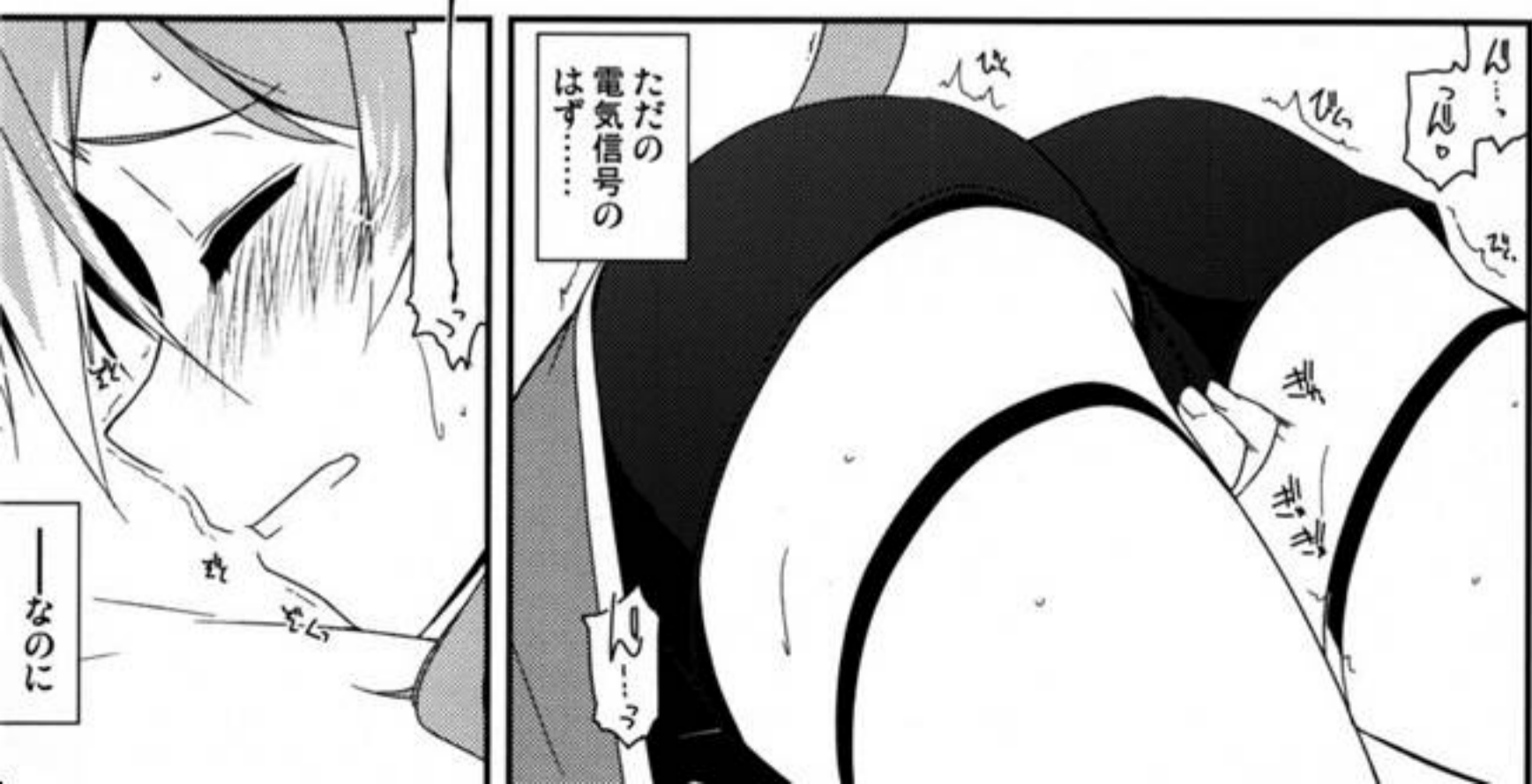
完全に感覚を
遮断しきれない
とはいえ――



今感じて
いるのは……

システムより
与えられる

作られた
感覚――



ただの
電気信号の
はず……

――なのに

アバターに
触れることで
私の脳に送られる

システムによる
定型的な

— 快楽の再生

現実感の無い

自分のものとは
とても思えない
感覚—

それに気持ちよさ
なんてものは無く

ただ違和感と
気持ち悪さ
ばかりで—

—なのに

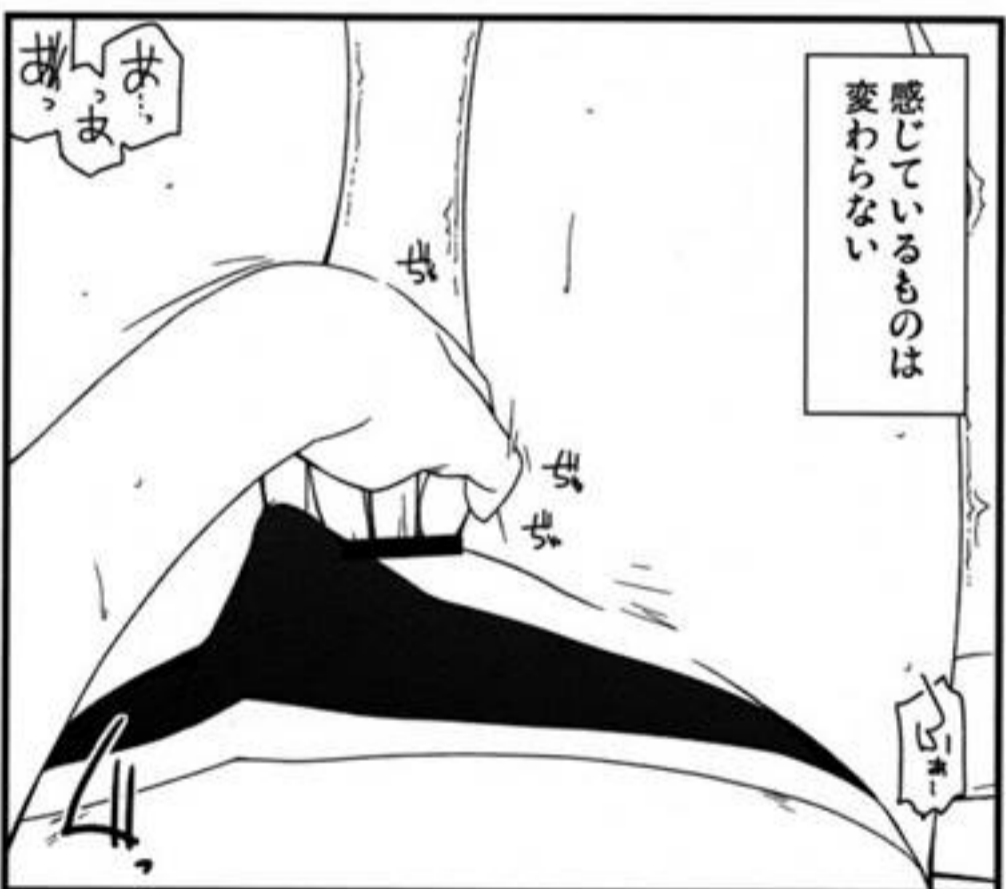


ALOだから?
GGOじゃないから?

いえ



システムからの
信号はなにも
変わっていない



感じているものは
変わらない



この作られた
感覚は——

なにも
変わっていない





クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

ALOコース
キリト逆レ 経由
返り討ち ゆき

GGOコース
モブ男弄られ 経由
快樂墮ち ゆき

... なによ、これ



- というわけで「個別√に入る前までの共通√」的なお話でした(^ ^)
- 味覚再生にも限度がある状態で「別の身体」のプレイヤーそれぞれの体感覚の再現とか夢のまた夢なんだろうなあ…的なところから「それ故年単位で潜り続けたSAO生還者やユウキ達の凄さ」があって「だとしたらGGO組で現実とVRを行き来しているシノンはどうなのか?」と。
「アバターをどこまで自分の身体と認められるか」といった辺りの機微とか含めてあれこれ弄ってみたらこんな話に(^ ^)
- 個別√は……また近いうちに。
とはいえどっちにしようかしら?ハテサテ。
- そんなこんなで(=ω=)!

Difference

発行日
2015年6月14日(初版発行)

著作・発行
しけー・行脚堂
shikei@angyadow.com
<http://www.angyadow.com/>



印刷所
サンライズパブリケーション株式会社

禁無断複製/禁無断転載
ネットワークでの共有等もご遠慮下さい